

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22040		事業名	伝統的建造物群保存修理修景事業			
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()						
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	10:歴史文化を生かしたまちづくりの推進				款	10:教育費
		施策の方向	02:関宿重要伝統的建造物群保存地区の保護の推進				項	05:社会教育費
重点プロジェクト	02:「まち紡ぎ」プロジェクト			目	08:町並み保存費			
	事業期間	H 19 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等	文化財保護法、亀山市伝統的建造物群保存地区保存条例			

評価分類	A1
------	----

担当部署	
部	市民文化部
課	文化課 まちなみ文化財G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	昭和59年の重要伝統的建造物群保存地区選定以来修理修景事業を進めているが、対象となる伝統的建造物数が多く、老朽化が進んでおり、継続的・重点的な事業推進が必要である。	重要伝統的建造物の所有者	亀山市関宿伝統的建造物群保存地区において、老朽化した伝統的建造物の修理・修景を進めることで、歴史的景観を保存整備するとともに、生活環境の向上を図る。	重要伝統的建造物の修理修景等に要する経費に対し、財政的支援を行う。また、修理修景等を通じて保存事業等に関わる建築士等の育成を進める。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画	○伝統的建造物群保存地区保存事業補助金の交付 ○修理修景事業にかかる設計及び工事監理		○伝統的建造物群保存地区保存事業補助金の交付 ○修理修景事業にかかる設計及び工事監理		○伝統的建造物群保存地区保存事業補助金の交付 ○修理修景事業にかかる設計及び工事監理		○伝統的建造物群保存地区保存事業補助金の交付 ○修理修景事業にかかる設計及び工事監理		
	活動実績 (計画通り実施できたか)	伝統的建造物群保存地区の修理修景事業に対し、適正に補助金を交付し、地域住民の協力を得て計画的な事業進捗を図ることが出来た。また、工事現場の公開を設計士等を対象に行い、修理修景事業にかかる設計及び工事監理を適切に行うことが出来た。		伝統的建造物群保存地区の修理修景事業に対し、適正に補助金を交付し、地域住民の協力を得て計画的な事業進捗を図ることが出来た。また、工事現場の公開を設計士等を対象に行い、修理修景事業にかかる設計及び工事監理を適切に行うことが出来た。						
	計画額 予算額	事業費	40,000千円	38,782千円	40,000千円	35,382千円	40,000千円		40,000千円	
		国・県支出金	20,500千円	19,861千円	20,500千円	17,912千円	20,500千円		20,500千円	
		地方債		0千円		0千円				
		その他		0千円		0千円				
		一般財源	19,500千円	18,921千円	19,500千円	17,470千円	19,500千円		19,500千円	
	決算額	事業費		37,407千円		35,372千円				
		国・県支出金		19,861千円		17,915千円				
地方債			0千円		0千円					
その他			0千円		0千円					
一般財源			17,546千円		17,457千円					
①期間内計画額(R4-7)		160,000千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額		160,000千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	35,382千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	保存修理修景完了率	伝建地区内(旧東海道に面した主屋等)の伝統的建造物・非伝統的建造物に対する保存修理修景事業完了率	成果	%	計画値 実績値	62 62	63 63	64	66
	保存修理修景工事現場の公開回数		活動	回	計画値 実績値	1 1	1 1	1	1
					計画値 実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	伝統的建造物群保存修理事業を15件、修景事業を6件実施し、補助金を事業実施主体へ適正に交付し、地域住民の協力を得て事業を完了出来た。また、設計士等で構成されるNPO法人亀山文化資産研究会と連携した工事現場の公開を計画どおり実施し、修理修景事業に対する理解を深めつつ、事業にかかる設計を3件、工事監理を4件業務委託を行い、適切に事業を進めることで、修理修景事業完了率が63%まで上がった。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
重要伝統的建造物の所有者	亀山市関宿伝統的建造物群保存地区において、老朽化した伝統的建造物の修理・修景を進めることで、歴史的景観を保存整備するとともに、生活環境の向上を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	計画通り執行しており、令和7年度の保存修理修景事業完了率の目標値である66%の達成のため、引き続き、地域住民の理解醸成に努めながら、計画的に修理修景事業を進める必要がある。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 修理修景事業に対する補助金の適正な交付を行うとともに、関係団体や事業実施主体等との協議及び調整を密に行い、住民の協力を得ながら計画的な事業進捗を図っていく。	令和7年度以降で対応するもの 今後も関宿の歴史的景観の保存を図るため、住民の協力を得つつ、修理修景事業を実施し、適正な補助金の交付を行う。また、関係団体や事業実施主体等との協議及び調整を密に行い、計画的な事業進捗を図っていく。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

【履歴】

1次評価者	市民文化部 文化課 まちなみ文化財GL 豊田 親臣
最終評価者	市民文化部 文化課 課長 松岡 保範